

5月10日：マーケットは反発、VN指数は3日ぶりの上昇

月曜日のVN指数は1.43%（17.77ポイント）高の1,259.58ポイントで取引を終えた。同指数は前日0.7%上昇していた。

騰落別では214銘柄が上昇、207銘柄が下落。43銘柄は変わらずだった。

国内勢は23兆1,300億ドン以上を買い入れ、売買高は7億7,300万株に上った。

「今週も引き続き下げるだろう」という専門家の予想とは異なった値動きとなった。

「マーケットは週初めに利益確定売りに見舞われるが、週後半に反発する可能性が予想される」（バオベト証券の投資家向けデイリーレポート）

「株式はさらに売られ、底値買いが集まる可能性がある」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

昨日上昇した主な要因として大型株、特に素材、銀行株の上昇が挙げられる。

VN30指数は2.23%（29.93ポイント）高の1,370.66ポイントとなった。

同指数採用銘柄のうち、23銘柄が上昇、7銘柄のみ下落した。

素材関連株は相場の上昇に寄与し、中でもビナミルク（VNM）、マサングループ（MSN）は7%のストップ高を付けた。他にもホアファットグループ（HPG）が3.62%高とよく買われた。

銀行セクターも好調で、ベトコムバンク（VCB）、テクコムバンク（TCB）、ヴィエティンバンク（CTG）、VPバンク（VPB）、MBバンク（MBB）はそれぞれ1%を超える上昇となった。

その一方でノバランド不動産投資グループ（NVL）は前日比5.38%安と相場上昇の重しとなった。

ハノイ市場では、HNX指数が0.15%（280.27ポイント）高と値を上げた。HNX30指数は0.36%高の418.48ポイントとなった。HNX指数は前日0.44%安と売られていた。

売買高は約1億1,600万株で売買代金は2兆3,000億ドンだった。

一方で外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で計943億8,000万ドンを買越した。

買越し額はホーチミン市場で898億2,000万ドン、ハノイ市場で45億6,000万ドンとなった。ハノイ市場では朝方7億1,584万ドンを売り越していた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。